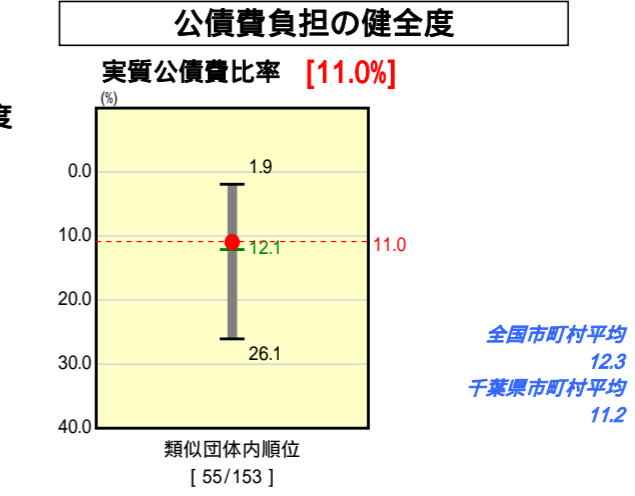
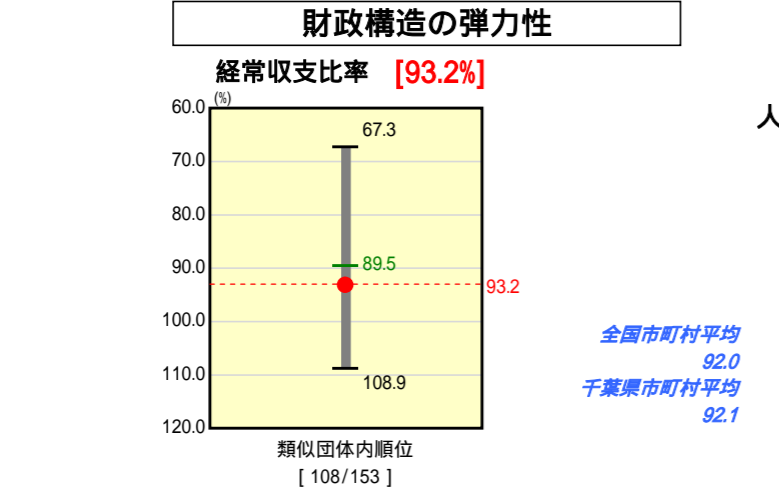
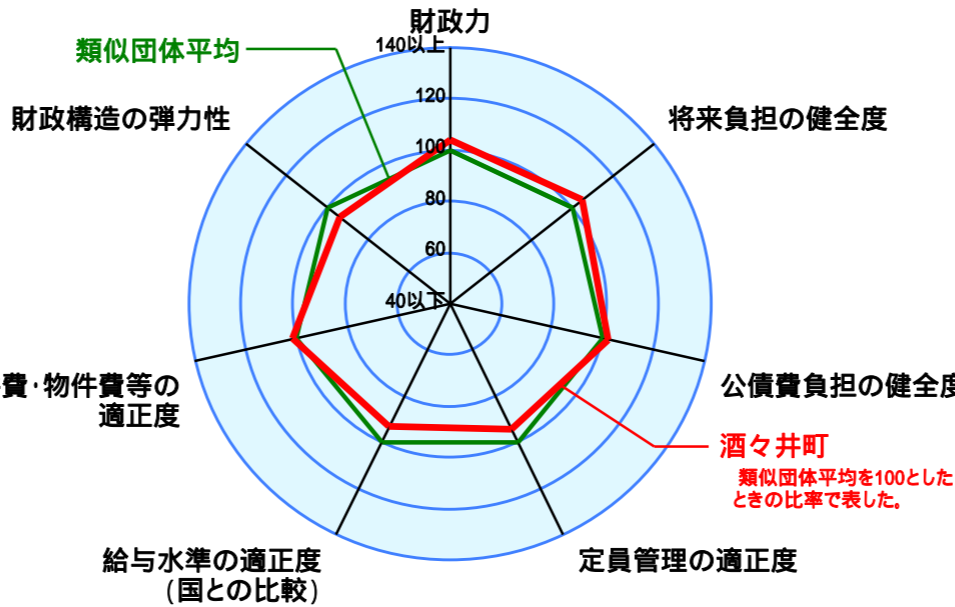
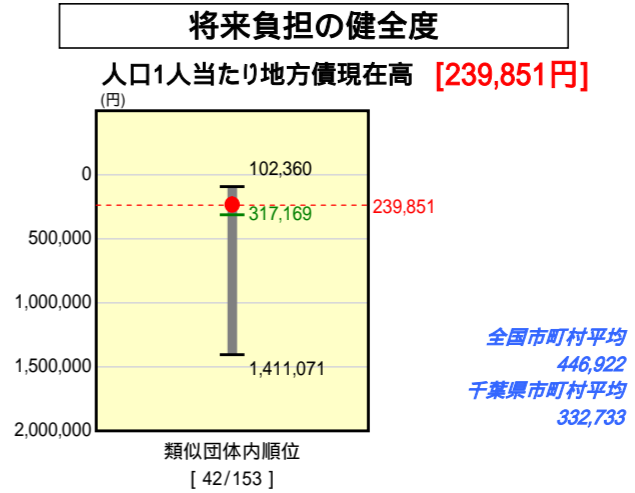
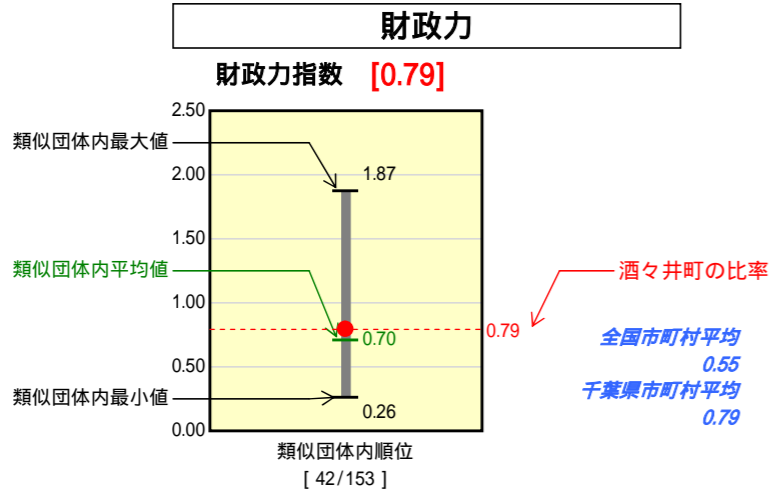


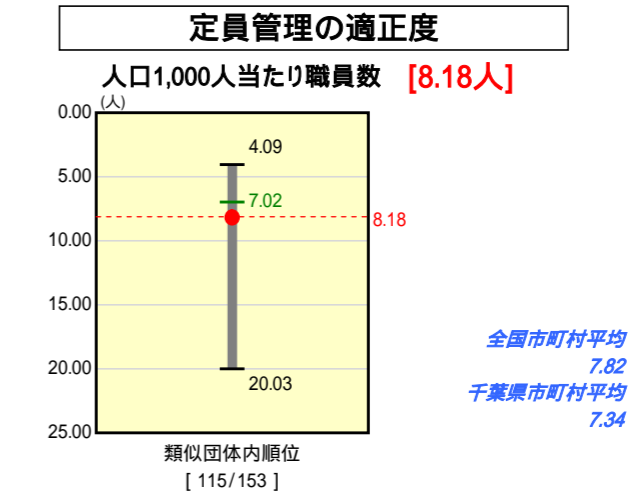
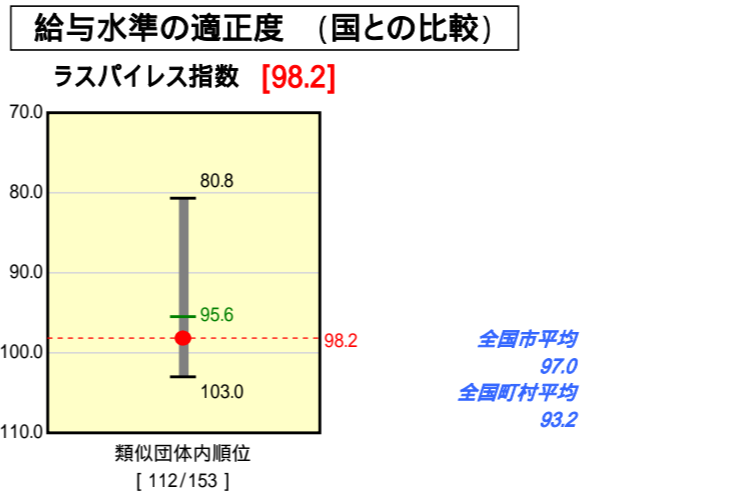
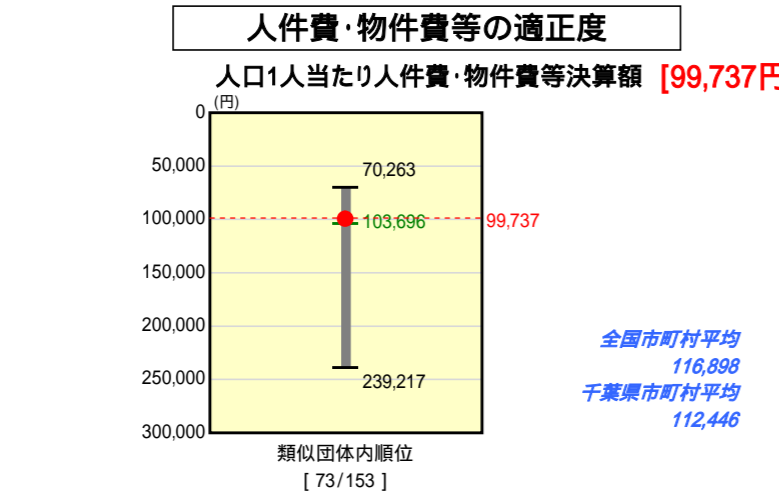
# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 千葉県 酒々井町

|      |           |                 |
|------|-----------|-----------------|
| 人口   | 21,513    | 人(H20.3.31現在)   |
| 面積   | 19.02     | km <sup>2</sup> |
| 歳入総額 | 5,198,749 | 千円              |
| 歳出総額 | 5,034,799 | 千円              |
| 実質収支 | 120,515   | 千円              |



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
ラスバイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**財政力指数**  
税源移譲等により町税収入が昨年度に比較し8.5%上昇したことなどにより財政力指数も上昇している。しかし、町内に中心となる産業がなく、また、法人関係税収の大きな伸びも見込めず、さらに、高齢化あるいは不況により個人・法人町民税が今後減少すると思われることから、引き続き歳出の削減及び税徴収の向上に努め、財政基盤の強化を図る。

**経常収支比率**  
昨年度と比較して0.6%下回っている。要因としては、特別職報酬の20%カット、全職員の地域手当支給停止、勤奨退職の励行等、人件費の減に伴う要因が大きい。しかし、類似団体平均あるいは県内市町村平均より高い状況であることから、引き続き財政健全化緊急対策計画等に基づき、更に事務事業の優先度を厳しく点検するなど、町税等の歳入確保と経常経費の削減に努める。

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額**  
昨年度と比較して15,345円の減となり、類似団体を下回ることとなった。これは人口1人当たり人件費及び物件費とも、それぞれ昨年度に比較してそれぞれ大きく削減していることによる。人件費では職員数の減、物件費では総務費や教育費をはじめ全般にわたり抑制に努めた結果である。今後とも、職員数や事務事業の見直しを進め、適正化に努める。

**人口1人当たりの地方債現在高**  
現在のところ類似団体を下回ってはいるが、学校耐震化やまちづくり交付金事業など、プロジェクト事業が今後予定され新規地方債の発行が見込まれる。今後は他事業における地方債の発行を抑制するなど、適正な地方債管理に努める。

**実質公債費比率**  
算定方法の変更や地方債の償還に伴い昨年度より2.6%下がり類似団体を下回っている。今後はプロジェクト事業により地方債の発行が見込まれるが、大きく上昇することがないよう、数値の維持に努める。

**人口1,000人当たりの職員数**  
昭和50年代から60年代の人口急増期の行政需要に対応するため職員を増員したことから類似団体を上回っている。集中改革プランや定員適正化計画、財政健全化緊急対策計画等に基づき、職員数の抑制に引き続き努める。

**ラスバイレス指数**  
類似団体を2.6上回っているため国等の給与水準や運用等を参考にするとともに、人事院等の勧告制度を踏まえ、今後とも給与の適正化に努める。